

新潟県

公民館だより

8

August2026

No.841



TOPICS

準備



主会場の
県立生涯学習推進センター



市町村職員の皆様が
役員として準備

8月26日(水)に昨年度に引き続き半日日程で、第76回新潟県公民館大会が新潟県立生涯学習推進センターで開催されました。

今回もオンラインを活用したハイブリッド開催となり、市町村から会場参加者が112名、オンライン参加者が118名でした。会場には市町村参加者以外に、講師、推進センター職員、県教育委員会関係、県公連事務局員などの皆様を含めて、総計121名の方がお集まりで

トピックス

第76回新潟県公民館大会を振り返って

した。会場とオンラインの参加者合計が239人でした。大変ありがとうございました。

今回も意見交換の場を設け、会場では3〜4人一組で話し合い、さらにオンラインの参加者同士でも意見交換ができるようにする取組も行いました。昨年度に引き続き、県立生涯学習推進センターの職員の皆様から、多大なご支援、ご協力をいただき改めて感謝申し上げます。



開会前のステージ
右側に来賓、左側に県公連会長団と司会者、簡素な壇上



開会式



開会のことば
長谷川明寿県公連副会長
(上越市中央公民館長)



主催者あいさつ
土田道代県公連会長
(新発田市生涯学習課長)

大会主題

「これからの公民館の在り方を考える」
若者の参加や
まちづくりの観点から考える」

土田県公連会長が主催者あいさつ。「県教育委員会、生涯学習推進センター、出席者などの関係者の皆様にお礼を申し上げます。公民館には若者や多様な人々の参加が求められており、ICTやAIの発達、公民館を拠点としたまちづくりの在り方などを考える機会になれば幸いです。」とあいさつしました。



受賞者代表謝辞
三条市の倉品章 様
ドイツの社会教育事情も
交えてあいさつ



閉式のことば
樋口具範公連副会長
(十日町市中央公民館長)



来賓あいさつ
県教委教育次長
鶴巻勝 様



永年勤続者表彰 県内で 30 名が受賞
会場には 7 名の皆様が参加

講演会

講師
映像作家 脚本家
栗山 宗大 様

映画「若者が地域のミライを
開く」の映画監督

演 題 「若者が地域のミライを開
く公民館」

映画「若者が地域のミライを開く」では二つの取組を丹念に画いています。一つ目は静岡県浜松市の富塚協働センターの野嶋京登氏の取組。若者が関わる仕組みづくりで、公民館活動をサポートする若者（高校生など）が濃密にかかわりある活動を取り上げています。二つ目は広島市の古田公民館の為政久雄氏の取組。「このまちでくらしたい」プロジェクトを立ち上げ、遊べなくなっていた公園の再生を目指して中学生などの多世代がまちづくりに取り組み活動を取り上げています。

映像には、公民館職員とそこに集う若者たちが地域で生き生きと活躍するリアルな姿、活動の様子、そして本人たちの等身大のインタビューが収められており、若い世代とともに築いていく「新たな地域社会の可能性」を強く感じさせる内容でした。単なる活動



浜松市富塚協働センターでの取組



講演後、参加者 2 名
から質問



講師が脚本を書いた映画「恋
まち物語」が偶然に 9 月 20 日
に推進センターで上映。講師
もびっくり



講師の栗山宗大 様

紹介にとど
まらず、こ
れからの公
民館活動や
多世代交流
のあり方に
ついて深く
考えさせら
れる、大変
有意義なご
講演でした。



広島市古田公民館での取組

この映画は全国公民館連合会のホームページの
「各種情報」のコーナーから視聴できます。

事例発表



刈羽村公民館事務局長
平田晋一 様



未来をデザインする
「まちづくり」

刈羽村生涯学習センター「ラピ
カ」事務局長の平田晋一様が「未
来をデザインするまちづくり」を
テーマに発表しました。刈羽村
は人口 4,200 人で、「ラピカ」
は公民館、文化ホール、体育館、図書館
が一体となった複合施設。「未来をデザ
インする『まちづくり』」は地域をよく
したいという思いに支えられています。
①学校と社会がつながる「まちづくり」
②スポーツ・文化と経済が融合する「ま
ちづくり」③新たな雇用を創出する「ま
ちづくり」を目指しています。
具体的には、ソフト面の強化は重要と
して、子どもたちには「本のある環境づ
くり」が必要であり、学校と連携して学
級文庫設置して、図書館とのネットワー
クを構築して本のリクエストを受けてい
るなどの取組について発表がありました。



始めは名刺交換、自己紹介

意見交換

昨年度から取り入れた意見交換、会場は3〜4人一組で話し合い、オンラインでも実施しました。話し合いが盛り上がり、自己紹介の後に司会者が2回、意見交換のテーマを連絡したが会場に伝わらない事態が起きました。特にオンライン会場には指示が届かず、事務局として反省しています。



真剣に講演や事例発表を聞く参加者



参加者2名から質問あり

閉会式

閉会式では、大会旗が阿賀野市の山寄館長に渡され、山寄館長が来年度開催の決意を述べました。最後は平山副会長が大会の成果や皆様への感謝を込めて閉会のあいさつを行いました。



話し合いの様子を発表



司会者は出雲崎町の村越一雄副参事



やがて活発な意見交換

今年度は事情により県公連事務局を中心に企画・運営を進めてきたため、前年度のアイデアの踏襲や配慮の至らない運営などが多々あったと思います。会場の提供や映像・音響、オンライン接続などに、県立生涯学習推進センター職員の皆様のご協力・ご支援をいただきました。また、理事会メンバーや近隣市町村、司会者の皆様に朝早くから準備・運営に当たってもらいました。主会場、オンライン会場に約240名のご参加をいただき、半日日程ながら内容の濃い大会になったのであれば幸いです。



閉会のあいさつ
平山祐子県公連副会長
(村上市中央公民館長)



大会旗が土田会長から
阿賀野市中央公民館の
山寄美佳館長に



山寄館長あいさつ

令和8年度 新潟県大会永年勤続者表彰受賞者名簿

氏名	所属
1 高間 博美	糸魚川市浦本地区公民館
2 池亀 綾乃	糸魚川市西能生地区公民館
3 渡邊 香織	糸魚川市青海地区公民館
4 虎井千賀子	糸魚川市市振地区公民館
5 星野 芳枝	上越市金谷地区公民館
6 中嶋 初枝	上越市金谷地区公民館
7 竹内 恵市	上越市金谷地区公民館
8 高橋 秀樹	上越市有田地区公民館
9 高橋 邦夫	上越市有田地区公民館
10 佐藤 すみ	上越市柿崎地区公民館黒川分館
11 関原 敏郎	上越市中央公民館
12 佐野眞砂子	見附市中央公民館
13 土田 秀	見附市中央公民館
14 北村 陽子	見附市中央公民館
15 牧野 明子	見附市中央公民館
16 倉品 章	三条市中央公民館
17 田巻 臣介	三条市中央公民館
18 近藤 雅哉	三条市中央公民館
19 石井 博	三条市中央公民館
20 梅田 礼子	三条市嵐南公民館
21 内山 重信	三条市本成寺公民館
22 田中 茂	三条市大島公民館
23 金川 春三	三条市大島公民館
24 星野 正行	三条市大島公民館
25 堀 まさ代	三条市大島公民館
26 芦田 文子	三条市大島公民館
27 阿部 敏栄	三条市大島公民館須頃分館
28 石附ヒロ子	三条市大島公民館須頃分館
29 中村 明	新発田市生涯学習課
30 渡部佳代子	村上市朝日地区公民館



「SEAによる保育園訪問」

佐渡市教育委員会社会教育課 主事 中川 勝喜

佐渡市では、JETプログラムを活用し新潟県で唯一SEAとして3名の外国の指導者を採用しています。SEAとは、Sports Exchange Advisor（スポーツ国際交流員）のことで、「一流の指導者がスポーツを通じて外国語の充実と地域の国際交流の推進を図る」ことを目的としています。3名の指導者は、アメリカとインドネシアとドイツからの来日です。SEAには、地域クラブ活動の指導の他に、保育園で英語に触れあう活動を実施しており、島内14保育園に年間5回ずつ訪問しています。

外国人と触れ合うことが無かった園児は、最初のうちこそ緊張していましたが、英語の歌や英語を使ったゲームを通して楽しく活動しています。今では、「グッドモーニング」や「ベリーベリーファン」など、園児自ら英語を使って話しかけています。また、園長先生からも「英語の正しい発音を学べる貴重な機会であり、英語の絵本に興味をもつて読むことが増えた。」との感想が得られています。このように、幼少期から気軽に英語を使える環境をこれからも整えていきたいと考えています。



湯沢で落語を楽しむ会

湯沢で落語を楽しむ会は、湯沢地域の皆さまに本格的な落語や演芸を気軽に楽しんでもいただくことを目的に、公民館を拠点として活動しています。定期的な



落語会の開催を通じて、地域文化の向上と、住民の皆さまが豊かで健康的な生活を送るための公共福祉の推進に取り組んでいます。

令和8年5月9日には、第三回となる「ゆざわ寄席」を湯沢町公民館で開催しました。今回は落語協会より

- ・真打 三遊亭詩づ歌
- ・三味線漫談

立花あまね

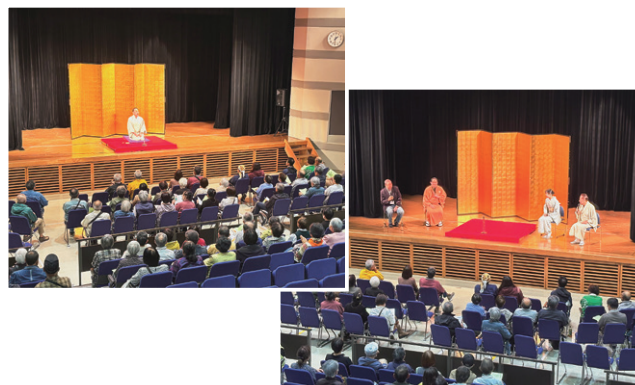
のお二人をお招きし、当日は101名の来場がありました。詩づ歌師匠による古典落語・圓朝作「芝浜」は迫力ある熱演で、会場は深い感動に包まれました。また、立花あまねさんの三味線漫談と踊りは大いに盛り上

がり、参加者から高い満足を得ることができました。

第三回の開催を無事に終えることができたが、今後も継続して会を重ね、当初目標の100名から150名規模の寄席を目指して活動を広げていきたいと考えています。地域の皆さまにとつて、身近に文化芸能を楽しめる場として、より一層の公共福祉に貢献してまいります。

次回、第四回「ゆざわ寄席」は令和8年9月27日に開催を予定しています。出演者などの詳細は、決まり次第、湯沢町の広報等でお知らせいたします。

(代表 津山 隆夫記)



公民館総合補償制度

公益社団法人 全国公民館連合会

この制度は公益社団法人全国公民館連合会の団体制度です。市町村の公民館および自治公民館、また公民館に準ずるものとして全公連が加入を認めたその他の施設等は名称を問わずご加入いただけます。

3つの補償で公民館活動をサポートします。

1. 行事傷害補償

全公連見舞金制度
+災害補償保険(公民館災害補償特約、熱中症危険補償特約)

2. 賠償責任補償

賠償責任保険(施設所有
管理者特約、昇降機特約)

3. 職員災害補償

全公連見舞金制度+傷害総合保険
【就業中のみの危険補償特約、
入院保険金支払限度日数変更特約
(支払限度日数180日)】

補償範囲や対象者が広い制度です。

年1回の手続きで安心です。

掛金には割引制度もあります。

*このご案内は、本制度の概要を説明したものです。詳細については取扱代理店または引受保険会社までお問い合わせください。

■取扱代理店
(お問い合わせ・
資料請求先)

エコー総合補償サービス株式会社

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-6-9

TEL: 0120-636-717(通話料無料) FAX: 0120-226-916(通話料無料)

(受付時間:平日9:15から17:00まで)

■引受保険会社

損害保険ジャパン株式会社

公務文教営業部 文教室

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1 TEL 050-3808-5536(受付時間:平日9:00から17:00まで)



(SJ23-13019) 2024年1月15日作成 [2501K-00]

実践記録シリーズ

テーマ…「アニメ・イラスト講座」

村上市中央公民館

はじめに

公民館では、デジタル文化を公民館活動に取り入れることにより、これまで公民館から遠ざかっていた若い世代や新たな層の参加を促進し、地域文化の新たな魅力を発掘・発信していくことを目指し、学習機会を提供しています。

そこで、現代の文化、特にデジタルアートに注目し、「アニメ・イラスト講座」を開催することで、文化活動への参加者減少や高齢化、公民館主催の作品展への出品数減少といった課題への対応を図ります。

また、この講座が、地域の文化と未来を繋ぐ一歩となることを願っています。

「アニメ・イラスト講座」とは

○開催時期…7月下旬または8月上旬の休日

※学生の長期休業期間に開催

○時間…午後1時～午後4時（3時間程度）

○対象…中学生及び高校生

○定員…15名

○参加費…無料

○申込方法…電子申請、電話、メール、窓口

○募集方法…市広報誌、SNS、ホームページ、

チラシ、ポスター

この講座は、中高生の皆さんが自身の趣味や志向と向き合い、芸術・文化活動をより深く楽しむことを目的としています。JAM日本アニメ・マンガ専門学校の方を講師に招き、専門的な指導を受けながら、参加者はスキルアップを図っています。また、公民館文化展への作品の出品といった学習の成果を発表する機会を通じて、表現することの大切さを学んでいます。この経験が、将来の進路選択を考える上での一助となることも期待しています。

参加者の様子

講座当日は、専門学校の講師がキャラクターの描き方から配色まで、タブレットを使ったデジタルイラスト制作の基本を丁寧に指導しました。参加者は、講師のデモンストレーションを熱心に見つめ、初めてタブレットを使う人も、講師のアドバイスを受けながら思い思いのキャラクターを描き出していました。初心者でも分かりやすい解説と実践的な内容で、笑顔の絶えない和やかな雰囲気の中、制作が進みました。

参加者は「キャラクターデザインの方法が今まで曖昧だったため、しっかり学べて嬉しかった」、「色彩の並べ方など、役に立つ知識を知ることができ、大変ためになりました。楽しんで学ぶことができた」といった声が寄せられました。参加者は熱心に講師の説明を聞き、タブレットを操作しながら、それぞれの作品作りに取り組んでいます。

最後に

今回の「アニメ・イラスト講座」は、デジタル文化を公民館活動に取り入れることにより、これまで公民館を利用する機会が少なかった若年層の参加を促し、地域文化の活性化に繋がりました。中高生の創造性を刺激し、



▲講座の様子



▲タブレットを使ってイラスト制作

デジタルアートへの関心を高めることができたと考えています。講座終了後には、中高生だけでなく、他の年代の地域住民の方からも「参加したい」というお声をいただいております。デジタル文化への関心の高まりを実感しています。今後は、デジタルイラスト技術向上のため講座の開催や、地域作品展へのデジタル作品の出品促進などを進めてまいります。村上市中央公民館は、今後も多様なニーズに応じた文化芸術活動を推進し、地域の活性化に貢献してまいります。

インフォメーション

新潟県立生涯学習推進センター主催 「社会教育関係職員等研修会」

オンライン 9月18日(金) 13:30～15:30

「地域に根差した公民館」

講師 田所 祐史 氏
(京都府立大学社会科学部 准教授)

事例発表 長崎県 長崎市 長崎市北公民館
(第75回優良公民館表彰「優秀公民館」)

オンライン 10月2日(金) 13:30～15:30

「これからの地域づくり」

講師 後藤 誠一 氏
(岐阜大学地域推進本部地域協学センター)

事例発表 妙高市企画政策課、
宮城県白石市白石市斎川公民館
(第72回優良公民館表彰「最優秀公民館」)

ハイブリッド 11月26日(土) 13:30～15:30

「誰もがともに学ぶことができる環境づくり」 (障害者の生涯学習)

講師 橋田 慈子 氏
(千葉大学教育学部 助教)

会場 新潟県立生涯学習推進センター
大会議室

素顔拝見



中央公民館勤務二年目の淵岡京平さんを紹介します。採用後初めての異動で、念願かなって中央公民館勤務になりました。

現在は、講演やコンサートなどいろいろなジャンルを九つ取り揃えた「つばめ目耕塾」や、中央公民館で活動する団体が参加する「中央公民館文化祭」、青少年育成協議会に関する業務などを担当しています。各講座においては講師と丁寧な交渉や打合せを進めています。文化祭の準備では、団体の皆さまに押され気味かと思う時もありますが、物腰柔らかな対応であるため皆さまも話しやすいようです。

そんな彼は昭和歌謡好きな青年で、時々歌声を披露しています。歌うだけでは飽き足らず、ピアノやギターも練習しているようです。

うです。興味が広がることは公民館業務にも役立つはずです。楽しくいろいろなことに挑戦していいと思います。

〔社会教育課中央公民館係長 中山 記〕



編集後記

8月26日(水)の新潟県公民館大会は、市町村、県教育委員会など多くの皆様方のご協力、ご援助で無事終了してほっとしています。

これからの新潟県公民館連合会の在り方の検討など課題が山積していますが、皆様のお力を借りて事務局として頑張りたいと思っています。(五井)

ハロウィンジャンボ

1等・前後賞合わせて4億円
1等2億円・前後賞各1億円

4億円

ハロウィンジャンボミニ

1等・前後賞合わせて4,000万円
1等2,000万円・前後賞各1,000万円

4,000万円

各1枚 300円

9月16日(水)発売

発売期間/9月16日(水)～10月16日(金)
抽せん日/10月26日(月)

PCやスマホで！
ネット購入
宝くじ公式サイト
<https://www.takarakuji-official.jp/>

公益財団法人 新潟県市町村振興協会 2026年新市町村振興宝くじ

この宝くじの収益金は市町村の明るいまちづくりや環境対策、高齢化対策など地域住民の福祉向上のために使われます。